

□ 要請番号 (JL54818A29)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タンザニア	G121 バレーボール		個別	新規	2年	・ 2018/3 ・ 2018/4 ・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

情報文化芸術スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

タンザニア国スポーツ評議会・バレーボール連盟

3) 任地 (ダルエスサラーム) JICA事務所の所在地 (ダルエスサラーム)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

タンザニアスポーツ評議会は、1976年に議会制定法に基づき発足した政府組織で、スポーツを通じた「国民の健康増進」「地域開発」「国民意識の高揚」等を目的として活動を行っている。主な業務内容としては、国のスポーツ推進に対する基本理念の制定、各競技別組織の登録・管理・運営支援、スポーツ施設等の建設に係る関係機関との調整等である。職員数は21名で、年間予算は約USD24,000である。

尚、青年海外協力隊が活動を実施するバレーボール連盟は、1972に設立され1994年に国際バレーボール連盟に加盟した。職員数は11名で、タンザニア国内のバレーボール競技人口は推定400名である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

タンザニアバレーボール連盟においては、十分なスキルのあるコーチがおらず、コーチの育成が急務となっている。また、より優れた代表選手を輩出するために、ユース世代からの底上げが求められており、専門的な知識や経験を持った人材が必要とされていることから、今回の要請が挙げられた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.同僚コーチと共に、ナショナルチームのトレーニングメニューを策定する
- 2.ナショナルチーム(ユース、成人)に対する指導を行う
- 3.国内で登録しているコーチに対して、技術指導を行う
- 4.可能な範囲で、ビーチバレー選手に対する指導も行う

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

国立競技場体育館(床はコンクリート)、キクウェテ青年公園競技場(ビーチバレー施設)

4) 配属先同僚及び活動対象者

会長:男性
副会長:60代、男性
コーチ:40代、男性(FIVBレベル2コーチ資格、体育教育学 準学士)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）3年以上 備考：実践的な内容の指導に必要

[参考情報]：

- ・スポーツ指導者の資格があるとよい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（20～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（不安定）

【特記事項】

JICAの判断により、訓練言語を「生活使用言語」に変更する場合があります。

【類似職種】